

新しい予想手法の導入に伴い  
新たに配信する XML 電文の形式

平成 29 年 7 月  
気象庁地震火山部

## 【概要】

- 以下の新規電文を気象庁から配信します。

### リアルタイム震度電文(工学的基盤面の値)

当該地震について、対象観測点となる気象庁の地震観測点・震度観測点で対応する予報に用いたリアルタイム震度を工学的基盤面の値に変換して記述します。地表面のリアルタイム震度で 2.5 以上の観測点のみを記述します。

- この新規電文は、緊急地震速報(予報)を発表したタイミングで発表します。
- 全対象地点(全国)における情報を一括で配信します。
- ヘッダ部内に記述する地震 ID(<EventID>タグ)は、この新規電文を発表する契機となった緊急地震速報(予報)と同じ地震 ID となります。
- 電文中の「地震の諸要素」(<Earthquake>タグ)には、この新規電文を発表する契機となった緊急地震速報(予報)と同じ内容を記載します。
- 地点を示すコードは、既存の震度情報の XML 電文の観測点コードに整合させます。  
なお、リアルタイム震度では震度情報の観測点には無い地点のデータを使う場合も考えられます。その場合、既存の震度情報の観測点コードに影響しないよう、アルファベットを使用することがあります。
- リアルタイム震度の工学的基盤面の値について、
  - \* <K>が負の値をとる、あるいは<K>のタグが出現しない場合があります。
  - \* <Int>に“不明”等の文字列が入る場合があります。
- 今後観測点の情報について現在未定義のタグで記述する場合があります。

## 【電文例】

### VXSE47 ( 新規電文：リアルタイム震度電文 )

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/" xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
  <Control>
    <Title>リアルタイム震度</Title>
    <DateTime>2014-08-10T03:43:38Z</DateTime>
    <Status>通常</Status>
    <EditorialOffice>気象庁本庁</EditorialOffice>
    <PublishingOffice>気象庁</PublishingOffice>
  </Control>
  <Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
    <Title>リアルタイム震度</Title>
    <ReportDateTime>2014-08-10T12:43:38+09:00</ReportDateTime>
    <TargetDateTime>2014-08-10T12:43:38+09:00</TargetDateTime>
    <EventID>20140810124332</EventID>
    <InfoType>発表</InfoType>
    <Serial>1</Serial>
    <InfoKind>緊急地震速報</InfoKind>
    <InfoKindVersion>1.0_0</InfoKindVersion>
    <HeadLine>
      <Text></Text>
    </HeadLine>
  </Head>
  <Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/seismology1/" xmlns:jmxEb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
```

情報名称(固定)

発信時刻

「気象庁本庁」又は  
「大阪管区气象台」

「気象庁」

標題(固定)

発表時刻

基点時刻

地震識別 ID

発表時刻・基点時刻・地震  
識別 IDは、この新規電文を  
発表する契機となった緊急  
地震速報(予報)と同じ。

常に空白

スキーマの運用種別情報

当該地震識別 ID の緊急地震速報(予報)が最終報 の場合、その旨を次のとおり示す。  
その地震 ID での緊急地震速報(予報)の発表終了  
<NextAdvisory>この情報をもって、緊急地震速報：最終報とします。</NextAdvisory>

```

<Earthquake>
  <OriginTime>2008-06-14T08:43:46+09:00</OriginTime>
  <ArrivalTime>2008-06-14T08:43:50+09:00</ArrivalTime>

  <Hypocenter>
    <Area>
      <Name>岩手県内陸南部</Name>
      <Code type="震央地名">213</Code>
      <jmx_eb:Coordinate description="北緯39.1度 東経141.0度 深さ 10 km" datum="日本測地系">+39.1+141.0-10000</jmx_eb:Coordinate>
      <ReduceName>岩手県</ReduceName>
      <ReduceCode type="短縮用震央地名">9030</ReduceCode>
      <LandOrSea>内陸</LandOrSea>
    </Area>

    <Accuracy>
      <Epicenter rank="2" rank2="2">NaN</Epicenter>
      <Depth rank="2">NaN</Depth>
      <MagnitudeCalculation rank="5">NaN</MagnitudeCalculation>
      <NumberOfMagnitudeCalculation>1</NumberOfMagnitudeCalculation>
    </Accuracy>
  </Hypocenter>

  <jmx_eb:Magnitude type="Mj" description="M6.1">6.1</jmx_eb:Magnitude>
</Earthquake>

```

<Earthquake>タグには、この新規電  
文を公表する契機となった緊急地震  
速報(予報)と同じ内容を記載

```

<Intensity>
  <Observation>
    <CodeDefine>
      <Type xpath="Pref/Code">地震情報 / 都道府県等</Type>
      <Type xpath="Pref/Area/Code">地震情報 / 細分区域</Type>
      <Type xpath="Pref/Area/City/Code">気象・地震・火山情報 / 市町村等</Type>
      <Type xpath="Pref/Area/City/IntensityStation/Code">"リアルタイム震度観測点"</Type>
    </CodeDefine>
    <Pref>
      <Name>青森</Name>
      <Code>9020</Code>

```

観測であることを示す<Observation>タグ

リアルタイム震度観測点のコード表(気象庁が震度  
情報を発表する地点(既存)に準ずる。)

```

<Area>
  <Name>青森県下北</Name>
  <Code>203</Code>
  <City>
    <Name>青森県むつ市</Name>
    <Code>0220800</Code>
    <IntensityStation>
      <Name>むつ市大畑町奥薬研</Name>
      <Code>0220801</Code>
      <Int>5+</Int>
      <K>5.3</K>
    </IntensityStation>
    <IntensityStation>
      <Name>むつ市金曲</Name>
      <Code>0220800</Code>
      <Int>5+</Int>
      <K>5.3</K>
    </IntensityStation>
  </City>
</Area>
</Pref>
<Pref>
  <Name>北海道道南</Name>
  <Code>9012</Code>
  <Area>
    <Name>渡島地方東部</Name>
    <Code>106</Code>
    <City>
      <Name>函館市</Name>
      <Code>0120200</Code>
      <IntensityStation>
        <Name>函館市大森町</Name>
        <Code>0120200</Code>

```

区域の要素は従前どおり(必須)とするが、区域毎の最大値などは入れない。

観測点毎のリアルタイム震度(工学的基盤面の値)。地表面のリアルタイム震度2.5以上の観測値のデータ(震度階級及び計測震度)を記述。

```
<Int>2</Int>
<K>2.4</K>
</IntensityStation>
</City>
</Area>
</Pref>
</Observation>
</Intensity>
</Body>
</Report>
```